

訓練成果を発揮 南越前町自警消防隊連絡協議会小型動力ポンプ操法大会



7月6日、今庄中部地区農業集落排水処理施設前広場で、南越前町自警消防隊連絡協議会小型動力ポンプ操法大会が行われました。大会は、自警消防隊員の士気の高揚と消防技術の向上や隊員相互の融和強調、消防体制の充実強化を目的に毎年行われ、今回は、自警消防隊16チームが参加、日頃の訓練で培った技術を披露しました。結果は次のとおりです。

1位 桜町A 2位 下牧谷 3位 桜町B
優秀隊 上野A、鋳物師、関ヶ鼻各自警消防隊

また、地域における防災活動に功績があったとして、次の自警消防隊員が表彰を受けました。

優良隊員 小川一則さん・谷口一三さん(西大道)、中村嘉夫さん(鋳物師)、赤澤雅之さん(阿久和)、藤井良浩さん(八飯)

海水浴へレッツ・ゴー

海開き

7月10日、河野海水浴場で河野観光協会南敏廣会長ら約30人が出席し、海開きが行われました。

南会長が「清潔で安全な河野の海を多くの人に楽しんでもらい、無事故で賑わってほしい」とあいさつ。神事後、関係者が花束を海に投げ入れ、シーズン中の安全を祈願しました。河野保育園の園児は「僕たち、私たちは河野の海が大好きです。きれいな海を守るため、海にゴミを捨てません。」と元気よく海に誓い、手にした色とりどりの風船を飛ばしました。



新盆に向け

花蓮初出荷

堂宮、金粕、上野の蓮生産農家で、7月10日の早朝、花蓮の刈り取り作業が行われました。今年は農家10軒で約13haを作付け、農家の人たちはひざまで蓮田につかり、桃色のつぼみを傷めないように一本一本丁寧に鎌を入れていきました。刈り取り後は各農家で大きさに3種類に選別、20本ずつに束ねて箱詰めし、午後4時に南条蓮生産組合から新盆用として関東方面に約4万本を初出荷しました。



大きくなれよ

ヒラメの稚魚放流

河野地区栽培漁業推進協議会が、7月16日、河野、甲楽城、糠の三漁港で、ヒラメの稚魚を放流しました。稚魚は今年6月から福井市の中間育成施設で、自然の海でしっかりと生きていける大きさ約10cmまで育てられたものです。搬送トラックから海に放流された稚魚は「大きくなれよ」と見送られ、元気よく海に飛び出していました。



悪質商法に気をつけて 南越前町消費者グループ連絡協議会講習会



6月18日、南越前町消費者グループ連絡協議会が昭和会館で行われた地域ふれあいサロンにあわせて、悪質商法に関する講習会を開催しました。上山今庄駐在所長が悪質商法や振り込め詐欺などの被害例や手口を説明、被害にあいそうになった時は落ち着いた行動が大切などと講演を行った後、福井市の劇団「王様」による「高齢者を狙う悪質リフォーム詐欺」と題した寸劇が行われました。ユーモアを交えながらも悪質商法の怖さを訴えた寸劇に、参加者らは被害にあわないよう気を引き締めているようでした。

南越前町消費者グループ連絡協議会では、今後も消費者問題に関する啓発や講習会など積極的に取り組んでいきます。

日頃の成果を披露 南条地区文化協議会 30周年記念発表会

6月29日、南条地区文化協議会30周年記念発表会が南条文化会館で盛大に開催されました。書道や水墨画、陶芸、写真、俳句、今庄地区の草木染、絵手紙、河野地区の水墨画、短歌などの作品がロビーなどに展示されたほか、午後の舞台発表では、詩吟や日本舞踊、吟舞、民謡、謡曲など、日頃の練習の成果が披露されました。

また、30周年記念ということで、南条地区の文化振興に大きな功績を残している次の方々へ感謝状が贈られました。

澤崎鉄二郎さん(関ヶ鼻)、嶋崎喜吉さん(嶋)、中村秀子さん(日野)、町外：河間弘明さん、村崎昊聖さん、橋本典男さん、平林火山さん



復興を願い

南条中生徒会 岩手・宮城内陸地震に見舞金

南条中生徒会が7月4日、岩手・宮城内陸地震の被災地を支援しようと、見舞金16,251円を川野副町長に手渡しました。この見舞金は、地震発生後、何か役立つことはできないかと生徒会が自主的に考え、毎朝生徒玄関前で募金活動を行い、集めたものです。

生徒らは「みんなの心遣いがみえて感動しました。少しでもこのお金が復興の役に立ってくれるとうれしいです」と話すと、川野副町長は「ありがとう。みな



さんの活動は素晴らしいことです。責任を持って被災地に送ります」とお礼を述べていました。

谷川に残る先人の技

砂防文化を語る会

6月28日、29日の両日、高倉谷砂防堰堤の会・田倉川と暮らしの会主催の砂防文化を語る会が開催されました。町内外から集まった50人の参加者は、歴史的な砂防堰堤を見学し、先人たちの技術の高さを再認識。巨石積み砂防文化の謎解きを楽しみました。

フォーラムでは、岐阜県砂防課の職員が、岐阜の登録文化財「羽根谷砂防堰堤」や両県で発見された堰堤の記念碑に共通の設計者の名が記されていることを説明。

その後、高倉谷砂防堰堤の登録文化財に向けた取組みについて意見交換が行われました。

